



みんなのできる 地球温暖化防止活動

―社員と地域とともに、「Bコープ」認証経営で輝く!!―

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■会社訪問

「いらつしやいませ!」と迎えてくれたのは東陽電気工事株式会社(西郷村。東北新幹線新白河駅西側)の事務所の皆さんです。創業92年、会社設立から60周年になります。祖父が創業し父が経営してきた会社に、現社長の石川格子(のりこ)さんは2010年に入社し、2013年に社長に就任しました。

「三姉妹の末っ子です。会社を継ぐとは思っていませんでした。社長業は向いています。会社経営は好きです。」ときっぱりとお話になります。経営者としての責任と自覚が伝わってきます。

■MBA(経営学修士)取得、研修棟開設

MBA取得は3代目経営者としての自覚宣言。「人づくりと地域を大切にしています。」電気工事という仕事を選んでくれた若者が安心して失敗を体験でき、学べる環境を作ろうということで、敷地の一角に2階建ての研修棟を、2021年に建てました。電気工事

の現場のありとあらゆることを想定した機能を備えています。「高校生や外部の社員も独自のプログラムで研修を受け入れています。」横浜アリーナで2024年11月に実施された第5回電気工事技能競技全国大会で、社員の近藤あゆみさんが金賞を受賞しました。人づくりは、成果を確実に上げているようです。

■国際認証「Bコープ」の取得

子どもも大人も楽しく体感、来れば地球にチョットやさしいSDGsフェアを、敷地を開放して地域の皆さんと一緒に開催しています。「SDGsの13番目のゴールは、気候変動に具体的な対策を、です。」事業を通じて環境や社会課題の解決を目指すために、国際認証「Bコープ」を、2024年3月に取得しました。「東北で初、国内で40社目でした。」2007年に米国で始まった制度で、米国のNPO法人「Blab」が認証しています。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「Bコープを選んだのは、ガバナンス、従業員、コミュニティ、環境、顧客の5つのセクションがあったからです。経営を総合的に判断してもらええると思いました。」提出書類がたくさんあり、しかも英語でしたと、楽しそうに振り返りました。「体験談でしたらお話しすることができると思います。」

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>